

ロシア語教育における基本語彙データベースの活用とその効果について

堤 正 典 神奈川大学
tsutsumi@kanagawa-u.ac.jp
小 林 潔 神奈川大学
kobayashikiyoshi@kanagawa-u.ac.jp
尾 子 洋 一 郎 神奈川大学
pt128049hj@kanagawa-u.ac.jp

1. ロシア語の語彙の学習

外国語の学習では語彙の学習は欠くことのできなものである。ただし、ロシア語の場合、文字の学習（キリル文字）や文法事項の学習（豊富な語形変化等）にも時間がとられるため、語彙の学習は十二分に効率的な方法が行なわれる必要がある（最初期の文字学習・語彙学習で挫折することもありうる）。

基本語彙の効率化をはかる一つ的手段として、文字情報と音声情報ならびに語義（いわゆる日本語訳）等を含んだ基本語彙データベースを作成し、ITによる学習語彙の視覚的及び聴覚的な提示を行なうことが考えられる。

このロシア語基本語彙データベースおよび提示ソフトウェアは、柔軟なカスタマイズ性を持ったものにすべきであり、各教師により独自に単語を追加することが容易で、情報項目を付け加えることも可能なものとする（付け加える情報として、例えば、我々の開発の現段階ではロシア語初学者にとって煩雑になるおそれがあるので省いてある文法情報などがある）。このようなカスタマイズ性の高い語彙データベースはロシア語教育においては開発が遅れており、実用化は急務である¹。

提示ソフトウェアは様々なものの開発が可能であるが、ここでは我々が開発した「単語ブラウザー」と Apple 社の iTunes を用いた例と 2 件を紹介する。なお、ここで用いるものはロシア語教育のみなら

ず、広く他の言語教育においても応用が可能である。

2. ロシア語基本語彙データベースの作成

我々はここでのロシア語基本語彙データベース（音声・綴り・語義を含む）を作成するにあたって、教師が指導する、教科書を用いた教室での学習を想定している。そのため、実際に使用しているロシア語教材（日本人向け）から学習語彙を抜き出してデータベースを作成するのが実用的であると判断した。学生にとっては、自身が授業で使用している教科書に掲載されている語彙の学習がまず必要である。

今回は、神奈川大学のロシア語教育で用いている教科書の語彙を収録することにした。音声の収録は、日本の教育機関での教授経験を持つロシア語ネイティブ教員に依頼し、学内の録音スタジオで作成者自身が行なった。その後、音声ファイル（MP3）を手作業で単語ごとに切り分けた。

文字データにはユニコードを用い、CSV 形式で、基本語彙データベースを作成した。出典（どの教科書で初出が第何課か、など）も付加するものとした。

```
1873, улица,7,,3,316,108,"file:1873.mp3,通り  
1878, уметь,9,,3,316,108,"file:1878.mp3, (技能として) できる  
1881, университет,4,3,2,316,108,"file:1881.mp3, (総合) 大学  
1884, упражнение,4,,3,317,108,"file:1884.mp3,練習問題  
1886, урок,1,6,1,317,108,"file:1886.mp3,レッスン、授業  
1898, утром,6,12,9,317,108,"file:1898.mp3,午前中に
```

図1 データベース（CSV形式）の一部

* 本報告は、平成20年度科学研究費助成金（基盤研究（C））課題番号20520530（研究代表者：堤正典）「非専攻課程のための新しいロシア語習得基準とその教育内容に関する総合的研究」の一部である。

なお、データベースの音声情報の録音では、ミハイル・トゥルヒーン氏（聖学院生涯学習センター講師・東京工業大学フェロー）にご協力いただいた。記して感謝の意を申し上げます。

¹ ロシア語教育のIT化については、大須賀（2007）や小林（2008）があり、ロシア語教育についても昨今注目されているCEFRについてはAndryushina, Kozlova（2000a, 2000b）や小林（2007）がある。また、文字学習と語彙学習の関係については堤（2007）がある。

3. データベース活用例

ロシア語基本語彙データベースを活用する方法には様々なものが考えられ、種々のソフトウェアを用いることができる。しかし、多くの学生や教員に使用してもらうためには、広く普及しているソフトウェアを用いるのが望ましいし、さらに理想的なのは無料で使用できるものを用いることである。そして、何よりも直感的に操作可能なものを選択するべきである。

3.1 その1 単語ブラウザー

いわゆるデータベースソフトを提示のために用いることはオーソドックスな解決策であろう。どのデータベースソフトを使うかは、それぞれの教員・学生のニーズならびにスキルに合わせればよく、各人の好みに応じたものを使うことができるが、ここでは FileMaker Pro を使用した。

神奈川大学で用いている5種の教材それぞれについて単語を検索できるようになっている。また音声出力も可能としたので、実際の授業で音声を再生しながら提示することが可能である。

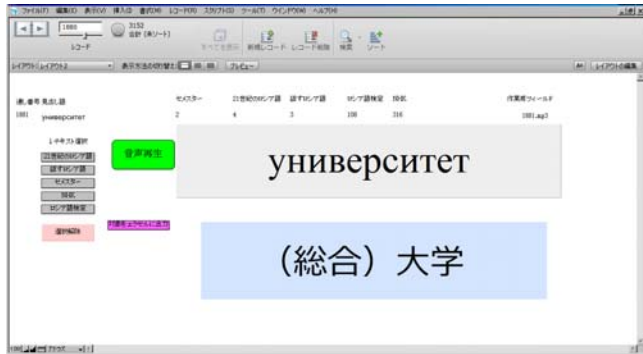


図2 単語ブラウザー

3.2 その2 iTunes

広く普及している無料のソフトウェアで、かつ、直感的に操作可能なものとして、ここでは米アップル社の iTunes を用いた例を紹介する。

iTunes を利用した語学教材で、これまでタグに綴り・語義などを含めたものはあったが、我々は iTunes の機能のひとつであるカバーフローを単語の提示のために利用する。カバーフローは、本来、音楽 CD のジャケットを提示する機能であるが、それを単語の綴り・語義等の情報の提示のために用いるのである。カバーフローの利用のために、これらの情報を盛り込んだ画像を用意し、MP3 ファイルのタグに埋め込む必要があるが、特殊文字や絵が相当自由に使用でき、またそれらの組み合わせも可能という大きな利点を得られる。提示の際の画面表示も効果的であり、携帯音楽プレーヤー iPod での利用も可能である。



図3 iTunes (カバーフロー・フルスクリーン)

4. 効果と今後の課題

神奈川大学においては初級の授業で単語ブラウザーによる新出単語の提示を行っており、学生の授業における注目度は高い。教師にとっては、単語学習のために時間を割くことが少なくなり、より密度の高い授業展開が可能となっている。このデータベースを用いての単語小テストの生成も容易である（しかし、それらについての詳細な検証は今後の課題としたい）。

LMS で学生が使用することが可能にできれば、予習・復習がより効率的に行なわれ、そこから、学習者の意欲低下を防ぎ、モチベーションを維持させ、発展的かつ能動的な自学自習も期待できる。

さらなる課題としては、元となるデータベースに収録する語彙・例文など内容の充実化、及び、提示方法の多様化などがある。また、データベース・提示用ソフトウェア・LMS の連関をより一層洗練させたものにしていくことが必要である。

データベース用語彙資料出典

安德ニーナ, 堤正典, 他 (2001)『21世紀のロシア語』
大学書林

諫早勇一, 服部文昭, 大平陽一, イリーナ・メリーニコワ (2002)『セメスターのロシア語読本』(CD付) 白水社

北岡千夏, 横井幸子, 三浦由香利 (2005)『ロシア語能力検定試験 合格への手引き—3級・4級対策問題集』南雲堂フェニックス

佐藤純一 (2001)『NHKCDブック 新ロシア語入門』(CD付), NHK 出版

米重文樹, ピョートル・トマルキン (1996)『話すロシア語入門』 白水社

参考文献

大須賀史和 (2007)「Web ベースの授業用教材の作成方法と今後の課題」『スラヴィアーナ』(スラヴィアーナ編集委員会), 第22号, pp.29-36.

小林潔 (2007)「ロシア語教育とヨーロッパ共通参照枠」中澤英彦, 小林潔編『ロシア語学と言語教育』東京外国語大学, pp.83-119.

小林潔 (2008)「ロシア語教育と情報通信技術」堤正典, 匹田剛編『ロシア語学と言語教育II』東京外国語大学, pp.5-10.

堤正典 (2007)「ロシア語の文字の学習をめぐって —河野六郎氏の「文字論」からの考察—」中澤英彦, 小林潔編『ロシア語学と言語教育』東京外国語大学, pp.27-34.

Андрюшина Н. П., Козлова Т. В. (2000a) *Лексический минимум по русскому языку как иностранному. Элементарный уровень. Общее владение.* М. — СПб.: ЦМО МГУ — Злауст.

Андрюшина Н. П., Козлова Т. В. (2000b) *Лексический минимум по русскому языку как иностранному. Базовый уровень. Общее владение.* М. — СПб.: ЦМО МГУ — Злауст.